

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「新興国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型）」）は、このたび、第89期の決算を行いました。

当ファンドは、新興国債マザーファンドの受益証券への投資を通じて、JPモルガン社のGBI-E Mブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 第89期末(2015年2月12日)

基準価額	5,385円
純資産総額	18,634百万円

### 第84期～第89期

騰落率	6.5%
分配金(税込み)合計	240円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページの「ファンド一覧」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「ファンド詳細」ページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

# 新興国債オープン （毎月決算型） （愛称 アトラス（毎月決算型））

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2014年8月13日～2015年2月12日

## 交付運用報告書

第84期（決算日2014年9月12日） 第87期（決算日2014年12月12日）

第85期（決算日2014年10月14日） 第88期（決算日2015年1月13日）

第86期（決算日2014年11月12日） 第89期（決算日2015年2月12日）

 **岡三アセットマネジメント**  
〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

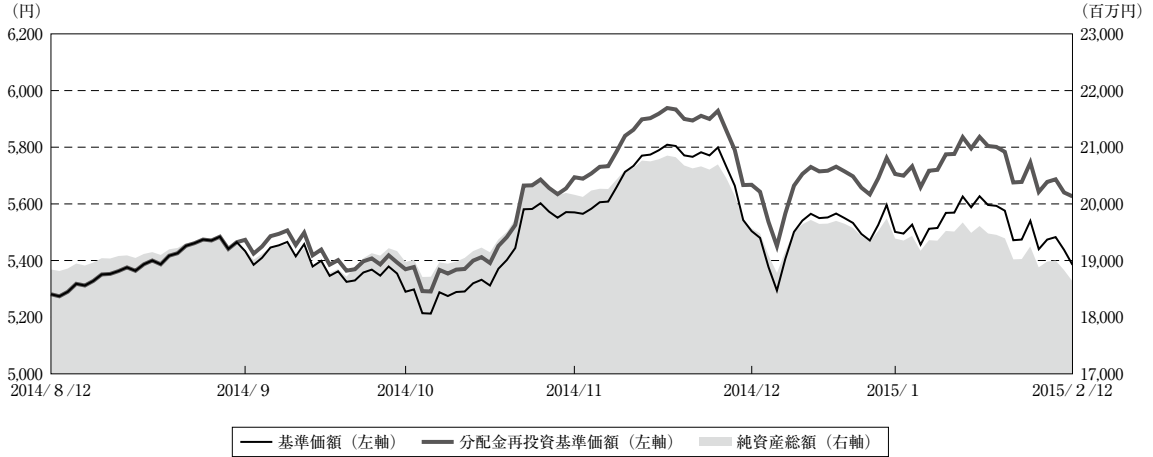
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。  
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

（2014年8月13日～2015年2月12日）



第84期首：5,281円

第89期末：5,385円（既払分配金（税込み）：240円）

騰落率：6.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2014年8月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

（主なプラス要因）

主要投資対象である「新興国国債マザーファンド」における主なプラス要因は、以下の通りです。

- ・現地通貨建ての新興国国債を主な投資対象とし、安定的な利息収入を確保したことがプラスとなりました。また、トルコ国債を筆頭に、投資していた多くの新興国において、国債利回りが低下（価格は上昇）したことがプラスとなりました。
- ・インド・ルピーを筆頭に、投資していた多くの新興国通貨に対し円安が進行し、為替面での収益を獲得したことがプラスとなりました。

（主なマイナス要因）

主要投資対象である「新興国国債マザーファンド」における主なマイナス要因は、以下の通りです。

- ・ブラジル・リアルやコロンビア・ペソなど、投資していた一部の新興国通貨に対し円高が進行し、為替面での損失が発生したことがマイナスとなりました。
- ・ロシア国債やロシア・ルーブルに関しては、当初の投資比率が低く、2014年10月までにすべて売却したため、マイナスの影響は軽微にとどまりました。

## 1万口当たりの費用明細

（2014年8月13日～2015年2月12日）

項目	第84期～第89期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 39	% 0.708	(a) 信託報酬 = 作成期間中の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(19)	(0.335)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(18)	(0.330)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.043)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	2	0.044	(b) その他費用 = 作成期間中のその他費用 ÷ 作成期間中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.033)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.005)	その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用
合計	41	0.752	
作成期間中の平均基準価額は、5,518円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

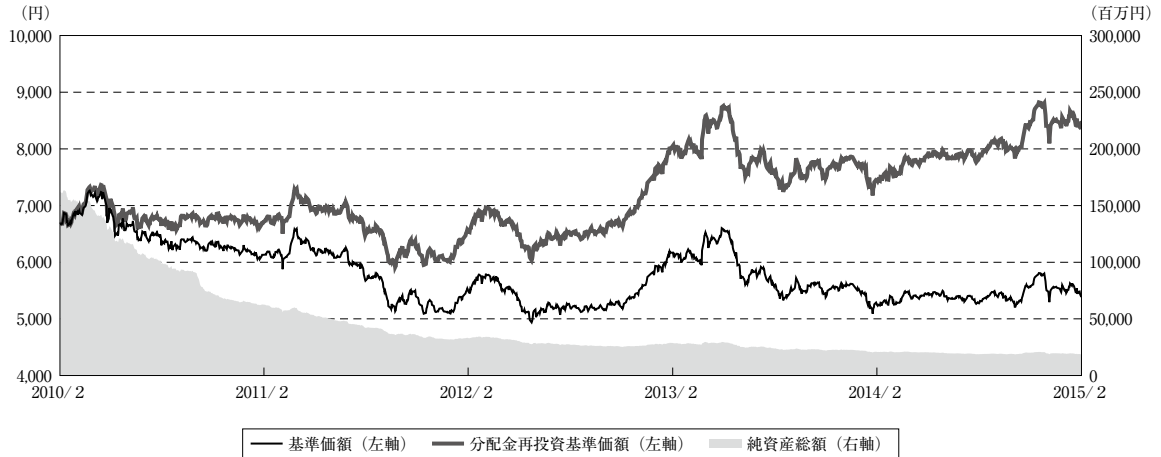
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2010年2月12日～2015年2月12日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2010年2月12日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2010年2月12日 期初	2011年2月14日 決算日	2012年2月13日 決算日	2013年2月12日 決算日	2014年2月12日 決算日	2015年2月12日 決算日
基準価額 (円)	6,665	6,134	5,465	6,169	5,245	5,385
期間分配金合計(税込み) (円)	-	620	480	480	480	480
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	1.2	△3.1	23.3	△7.6	12.2
G B I - E Mブロード・ディバースィファイド指数(円ベース)騰落率 (%)	-	4.9	0.2	29.3	△1.6	15.6
純資産総額 (百万円)	161,936	62,441	32,910	28,765	20,832	18,634

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) G B I - E Mブロード・ディバースィファイド指数(円ベース)は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

**投資環境**

（2014年8月13日～2015年2月12日）

**<新興国の国債市場>**

日銀や欧州中央銀行（ECB）など主要国の中央銀行による相次ぐ金融緩和や、原油価格の急落に伴う世界的なインフレ率低下を受けて、先進国の国債利回り低下とともに、多くの新興国において国債利回りが低下（価格は上昇）しました。特に、利下げを実施したインドやトルコの利回りが大幅に低下しました。一方、利上げを継続したブラジルでは利回りが上昇（価格は下落）しました。

**<為替市場>**

2014年10月末の日銀による予想外の金融緩和を受けて、新興国通貨に対し大幅な円安が進行しました。しかし、原油価格急落に伴い一部新興国の景気悪化と信用不安が懸念されたことや、ECBの量的緩和導入に伴うユーロ安・円高を受けて、12月以降は新興国通貨に対し円高傾向となりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

（2014年8月13日～2015年2月12日）

**<新興国国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））>**

「新興国国債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

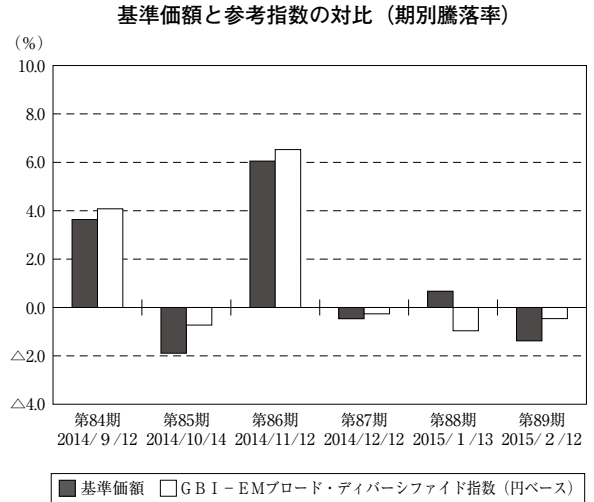
**<新興国国債マザーファンド>**

JPモルガン社のGBI-EMブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、国債の利回り水準や流動性、GDP、経常収支、外貨準備、インフレ率などのファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）等を総合的に判断し、投資国及び投資通貨を選定しました。当期間においては、11カ国、11通貨（日本及び円は除いています）に投資を行いましたが、ロシア国債とロシア・ルーブルは2014年10月にすべて売却したため、現在の投資国は10カ国、投資通貨は10通貨となっています。また、当期間においては、新興国の国債及び通貨の組入れをともに高位に維持しました。作成基準日現在の投資国上位は、南アフリカ、トルコ、ブラジルです。また、ファンドの金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションは、作成基準日現在4.00年となっています。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2014年8月13日～2015年2月12日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

（注）参考指数は、GBI-EMブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。

## 主要投資対象国の金利と為替

	債券利回り			為替レート		
	2014/8/12	2015/2/12	変化幅	2014/8/12	2015/2/12	変化率
インド	8.83%	7.76%	△1.07%	1.69	1.94	14.8%
インドネシア	8.50%	7.40%	△1.10%	0.88	0.95	8.0%
マレーシア	3.81%	3.87%	0.06%	32.02	33.23	3.8%
ハンガリー	4.09%	2.69%	△1.40%	43.7	43.96	0.6%
ポーランド	2.90%	2.04%	△0.86%	32.64	32.29	△1.1%
ロシア	9.27%	12.80%	3.53%	2.85	1.83	△35.8%
トルコ	9.16%	7.83%	△1.33%	47.58	48.06	1.0%
ブラジル	11.68%	12.92%	1.24%	44.96	41.91	△6.8%
コロンビア	6.40%	6.36%	△0.04%	5.44	4.96	△8.8%
メキシコ	5.77%	5.78%	0.01%	7.77	7.98	2.7%
ペルー	5.64%	5.56%	△0.08%	36.66	38.98	6.3%
南アフリカ	8.37%	7.75%	△0.62%	9.63	10.17	5.6%

債券利回りは、「G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数」の情報に基づくため、償還年限は国ごとに異なります。また、ファンドが実際に投資している債券の利回りとは異なります。なお、各利回りとも当該日前営業日のデータを使用しています。

為替レートは対顧客電信売相場の日（東京）の仲値です。インドネシア、ハンガリー、コロンビアに関しては、100倍して表示しています。

## 「新興国債マザーファンド」の主要投資対象国別組入比率

	2014/8/12	2015/2/12	差異
インド	10.0%	12.1%	2.1%
インドネシア	9.2%	12.2%	3.0%
マレーシア	4.8%	3.5%	△1.3%
ハンガリー	-	-	-
ポーランド	6.9%	4.3%	△2.6%
ロシア	4.2%	-	△4.2%
トルコ	8.0%	13.5%	5.5%
ブラジル	14.3%	13.5%	△0.8%
コロンビア	9.6%	9.8%	0.2%
メキシコ	10.6%	9.3%	△1.3%
ペルー	5.4%	5.7%	0.3%
南アフリカ	14.0%	13.9%	△0.1%

比率は、「新興国債マザーファンド」の純資産総額に対する率です。クレジット・リンク・ノート（CLN）を組み入れている場合は、実質的に投資している国の比率として表示しています。



## 分配金

（2014年8月13日～2015年2月12日）

分配対象収益は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当期間におきましては、第84期から第89期の決算期に、それぞれ1万口当たり40円（税込み）、合計240円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2014年8月13日～ 2014年9月12日	2014年9月13日～ 2014年10月14日	2014年10月15日～ 2014年11月12日	2014年11月13日～ 2014年12月12日	2014年12月13日～ 2015年1月13日	2015年1月14日～ 2015年2月12日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	0.731%	0.750%	0.713%	0.722%	0.722%	0.737%
当期の収益	40	20	40	17	40	19
当期の収益以外	-	19	-	22	-	20
翌期繰越分配対象額	178	159	192	170	219	198

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

（投資環境の見通し）

新興国の国債市場は、先進国の低金利環境の長期化が予想される中、今後も相対的に高い利回りを求める投資資金の流入が期待され、多くの新興国において利回りの低下余地が残されていると見ています。為替市場では、日銀による強力な金融緩和策の継続や、新興国への投資資金の流入を背景に、中長期的には新興国通貨が対円で底堅く推移する展開になると考えています。一方、米国の利上げが視野に入り始めていることや、地政学的リスクへの懸念が残ることは、今後も新興国通貨の下落要因として働く場面があると見ています。

（運用方針）

<新興国国債オープン（毎月決算型）（愛称 アトラス（毎月決算型））>

主要投資対象である「新興国国債マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

<新興国国債マザーファンド>

新興国の国債及び通貨の組入れを高位に維持することを基本とします。ただ、市況動向によっては、ポートフォリオの一部を先進国の国債（米国、ドイツ、日本）や円のコール・ローンヘシフトする場合や、為替ヘッジ（対円でヘッジ売り）により為替変動リスクの軽減を図ることがあります。また、投資環境の変化に応じてファンド全体の金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスクのコントロールを図る方針です。

## お知らせ

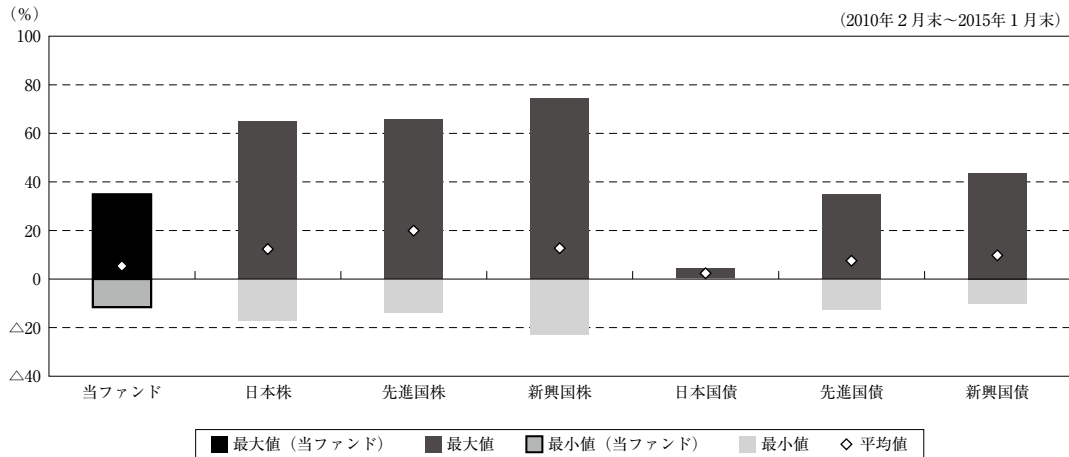
- ・法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2014年12月1日）
- ・インターナショナル・ストラテジー・アンド・インベストメント・インク（ISI Inc.）との投資助言契約を解除するため、投資信託約款に所要の変更を行います。  
当ファンドは2014年12月25日現在（異議申立基準日）の受益者の皆様を対象に、2014年12月25日から2015年1月26日までの間、異議申立の受付を行いました。その結果、異議をお申立てされた受益者様の受益権の合計口数が異議申立基準日の受益権総口数の2分の1を超えなかったため、2015年2月20日に投資信託約款の変更を行います。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2007年8月30日から、原則として無期限です。	
運用方針	「新興国国債マザーファンド」の受益証券を通じて、主としてJPモルガン社のGBI-EMブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	「新興国国債マザーファンド」の受益証券
	新興国国債マザーファンド	新興国が発行する現地通貨建ての国債または政府機関が発行する債券、およびそれと同等の価値が得られるクレジット・リンク・ノート等
運用方法	当ファンド	新興国の国債等の実質組入比率は高位に保つことを基本としますが、市況動向によっては弾力的に組入れを引き下げることがあります。投資環境の変化へ対応するため、先進国の国債（日本、米国、ドイツ等）に投資する場合があります。ただし、先進国の国債の実質組入比率は、原則として投資信託財産の純資産総額の50%未満とします。 マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	新興国国債マザーファンド	投資にあたっては、JPモルガン社のGBI-EMブロード・ディバーシファイド指数を構成する新興国の中から、利回り水準や流動性等を考慮して選定した新興国の国債等に、ポートフォリオの70%程度を投資します。（ステップ①） 次に、ポートフォリオの30%程度を、GDP、経常収支、外貨準備高等から総合的に判断して、ファンダメンタルズが良好であり、あるいはファンダメンタルズの改善が見込めることなどから、通貨価値の上昇が見込まれる新興国の国債等に投資します。なお、この場合に、ステップ①で投資した新興国の国債等に重複して投資する場合があります。（ステップ②） 1ヵ国の新興国の国債等への投資上限は投資信託財産の純資産総額の15%程度とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 収益分配は、主として配当等収益等から行います。ただし、1月、4月、7月、10月の決算時の分配方針は、それぞれの決算日に売買益（評価益を含みます。）等が存在するときは、配当等収益に売買益（評価益を含みます。）等を加えた額を分配対象収益として収益分配を行います。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：％）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	34.9	65.0	65.7	74.5	4.5	34.9	43.7
最小値	△11.5	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△10.1
平均値	5.3	12.3	19.9	12.7	2.4	7.5	9.7

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注）2010年2月から2015年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

（2015年2月12日現在）

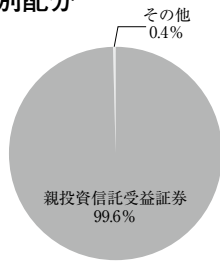
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第89期末
新興国債マザーファンド	99.6%
組入銘柄数	1銘柄

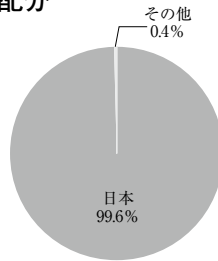
（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

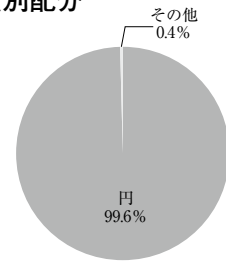
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

（注）国別配分につきましては発行国を表示しております。

### 純資産等

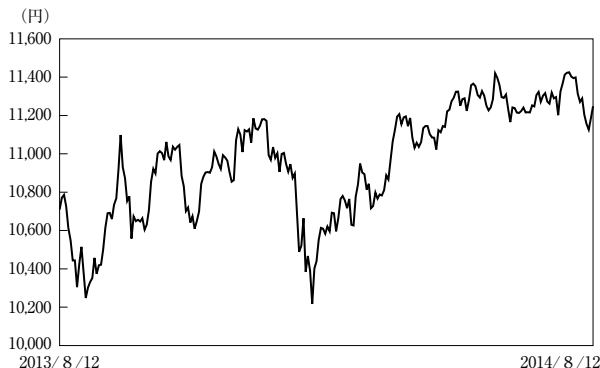
項目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
	2014年9月12日	2014年10月14日	2014年11月12日	2014年12月12日	2015年1月13日	2015年2月12日
純資産総額	19,184,729,776円	18,975,193,809円	20,160,572,655円	19,565,546,702円	19,388,137,580円	18,634,015,126円
受益権総口数	35,312,866,272口	35,869,220,937口	36,196,268,362口	35,544,869,691口	35,247,361,692口	34,602,910,537口
1万口当たり基準価額	5,433円	5,290円	5,570円	5,504円	5,501円	5,385円

\* 作成期間中における追加設定元本額は2,272,479,427円、同解約元本額は3,348,621,906円です。

組入上位ファンドの概要

新興国国債マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2013年8月13日～2014年8月12日)

項目	当期
(a) 保管費用等	9 円
合計	9

(注) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 保管費用等は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 単位未満は0と表示しています。

【組入上位10銘柄】

(2014年8月12日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	CS INT(INRCLN)11.6 2012	普通社債券	米ドル	イギリス	10.0
2	JPM SP(COPCLN)10.0 2407	普通社債券	米ドル	オランダ	9.6
3	SAGB-EXCH09/14 13.5	国債証券	南アフリカランド	南アフリカ	9.6
4	BRAZIL-LTN 0	国債証券	ブラジルリアル	ブラジル	6.8
5	MEXICAN BONOS 10	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	5.5
6	BRAZIL NTN-F 10	国債証券	ブラジルリアル	ブラジル	5.4
7	TURKEY GOVT BOND 10.4	国債証券	トルコリラ	トルコ	5.3
8	MALAYSIA GOVT 5.734	国債証券	マレーシアリングギット	マレーシア	4.8
9	REP SOUTH AFRICA 10.5	国債証券	南アフリカランド	南アフリカ	4.4
10	RUSSIA-OFZ 12	国債証券	ロシアルーブル	ロシア	4.2
組入銘柄数		24銘柄			

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

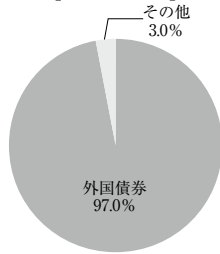
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国を表示しております。クレジット・リンク・ノートは発行体の所在地で表示しております。

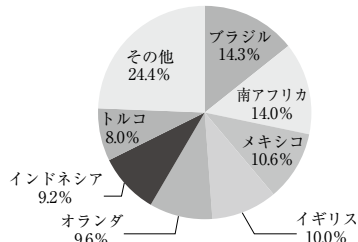
(注) 米ドル建ての債券は、全て現地通貨建ての新興国国債にパフォーマンスが概ね連動するクレジット・リンク・ノートです。銘柄名に（INRCLN）とあるものはインドの、（COPCLN）とあるものはコロンビアの現地通貨建ての国債に連動する債券です。

(注) クレジット・リンク・ノートは、連動先債券の信用リスクに加え、発行体である金融機関の信用リスクも負っています。第89期末現在の発行体は、Credit Suisse International、J.P.Morgan Structured Products B.V.です。

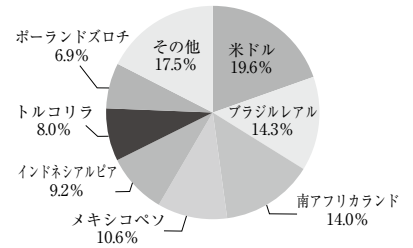
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。クレジット・リンク・ノートは発行体の所在地で表示しております。

(注) 通貨別配分につきましては、組入債券の通貨別比率を表示しております。クレジット・リンク・ノートにつきましては、米ドル建てで発行されているためドルで表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書（全体版）をご覧ください。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

#### ○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

#### ○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。

なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。